社会福祉法人　明星会
明星学園・第二明星学園便り

第７号
2018年７月25日

プリズム

一筋の光を七色の虹に変える、人は皆プリズム

松本山雅サッカー観戦

かざこし子どもの森
体験イベント

CONTENTS

表紙　わくわくハピネス
P2, 3　わくわくマイルーム
P4　特集　アニマルセラピー
P5　つむぐ　－お心主義実践日記－
P6　ブレークスルー
P7　こちら明星学園通り一丁目
P8　輪・和・わ！インフォメーション

表紙写真紹介

わくわくハピネス、松本山雅観戦

　メンバーさんが主体となって企画し参加者を募り、かざこし子どもの森公園にていろんな体験をしたり、松本までサッカー観戦に出かけています。

わくわく マイルーム

こんにちは!!　中島一洋です。
僕はオシャレな帽子をかぶる事と、歌をうたう事が大好きです。カラオケの時間では、ピンクレディーやアニメソングなど歌っています。童謡も好きでCDに合わせて歌う事もあるよ。のんびりテレビを観ている時間も好きです。

社会参加の一環として
わくわくハピネスに参加する事を楽しみにしているよ!
この時は白玉フルーツポンチを作ったんだ。その他にも五平餅、キャンディポット作りに参加したよ。

僕には帰る家がないから、家に帰っている人がうらやましいんだ。そんなとき、職員と一緒にお昼を食べているんだよ。家族団欒のようで、とっても嬉しいんだ。みんなで食べるといつもよりも美味しいね!

僕の大好きな麻里さん。
家族がいなくてずっと寂しかった僕が昔から頼りにしていた職員さんで、退職した今も、年３回位面会に来てくれているんだ。バレンタインの時にはチョコレートの交換もしているんだよ!麻里さんに会うのが、僕の楽しみ!!

見つめられるのは恥ずかしいけど、本当はとっても嬉しいんだ。

次回の面会で食べたい物を写真カードを使って一緒に選んだんだよ。上手に言葉で伝えられなくても、写真カードがあれば、伝えることが出来るんだ。ハンバーグ上手にできたね!麻里さんと食べるご飯はおいしいなぁ!
ニコニコ笑顔になったよ☆

伴走者の声

一洋さんと一緒にさまざまな所に行って、コミュニケーションを取りながらの食事はいつもより美味しく感じます!楽しい時間を共有出来ること、嬉しいですね☆これからも嬉しそうに笑っている一洋さんと一緒に過ごしていきたいです。そして挑戦していく姿を全力で応援していきたいと思います。

担任　日高 麻衣

こんにちは！竹中由香里です。私はキティちゃんが大好き♡カーペットやタンス・カーテン等はキティちゃんの柄なのでとても嬉しいです。もうすぐ部屋にベッドが入ります。キティちゃんがいっぱいのお部屋なので完成が楽しみです！

私の居る月組では「もぐもぐ」という料理くらぶがあるの。料理を作るのが好きで毎月何を作るか楽しみにしてるの。切ったりゆでたり調理は得意よ♪

さんとぴあの料理教室「レッツバク」の田中さんと仲良しだよ！

実は私、数年前にウェディングドレスの写真撮ってます！今ではいろんなメンバーさんがウエディングドレスの写真を撮っているけど、また撮り直したいと思っているの。今度はKさんと着物を着て撮りたいの。みんな応援してね！

オシャレも楽しんでいるよ！
私は聖子ちゃんみたいにかわいい服やスカートが好きで選んで着ています。

伴走者の声

自分らしく生きると決めてから20年、のんびりした生活をしています。自分のことは自分で決める！ことが出来るようになってきました。私も見習いたいです。由香里さんのウェディング写真が楽しみです！

担任　小椋 恭子

特集 アニマルセラピー

明星学園では、メンバーさん全員、楽しみや生きがいや癒しを見つけたり、探したり、やってみたりしています。私たちも楽しみがあると、その日まで頑張れたり、楽しかった気持ちを思い出せたりすると思います。そんなことって、とても大切ですよね。

今回は、その中から、「アニマルセラピー」と言う動物との触れ合いを紹介します。みなさんも動物と触れ合うことで、癒されたり、安心したりしませんか？メンバーさん達も、動物を見たり触れ合うことで、楽しみや生きがいを感じています。一生懸命に対応をしてくださった、お店の方、担当の方にお話を伺いました。いつも本当に良くして頂き、ありがとうございます。

保護猫 ふれあいハウス「かぎしっぽ」

飯田市松尾

猫を飼いたいという、良子さんの思いから始まりました。かぎしっぽの職員の方は「以前とは違って猫と触れ合い安心している様子を見ることができ、変わっていく利用者さんが増えて、とても嬉しい。」とお話しされていました。

乗馬体験 日本トレッキング協会

飯田市北方3462

「利用者の方も笑顔があり、リラックスをしていて楽しんでいる様子でした。」「もう一度乗りたい人？と聞くと、みなさん乗りたいと言っていて、嬉しかったです。」とお話されていました。また行きたいと伝えてくれる利用者さんばかりです。

動物には癒す力がとてもあります。嫌なことを忘れて、息抜きになったり、リラックスをする時間になっています。元気をもらい、自信がついた気持ちにもなるでしょう。みなさんも、ぜひ体験してみて下さい。いろいろなことに挑戦しながら、そういった時間を作り出していくことが自分たちの使命です。

つむぐ お心主義実践日記

生活支援員
吉澤恵子

「伝えれば・・・諦めなければ・・・きっと夢は叶う」

今回紹介させていただくのは、丸茂英樹さん（45歳）です。

丸茂さんは５歳から明星学園に入所され、40年が経ちます。自閉症と知的障がいがありますが、とても優しく、「役に立ちたい」という気持ちが強い方です。

29年の夏頃から「お金お金」「コケコッコー」と話しをしていて、最初は何を伝えたいのか分かりませんでしたが、話をしていくうちに、「チャボを飼いたい!!」「お仕事をしてお金を稼ぎたい!!」事を教えてくれて、ここから丸茂さんの「夢」の応援がスタートしました。

【チャボ】

チャボは園長と小屋を作り、「まる、さんかく、ばつ」と３羽に名前を付けました。初めて産んだ卵は、卵かけご飯で「うまい」と食べていました。

【お仕事】

丸茂さんにとっての仕事とは、学園の外で働きたいという意味だったのです。いろいろ見学にも行ってみましたが、なかなか難しく・・・「やっぱり僕はダメなんだ」と涙を流してしまう事もありました。そこで丸茂さんを助けてくれたのは、「親愛の里まつかわ」の相談支援専門員　藤澤さんでした。話を聞いてくれて、「障がい者支援センター七和の里　ゆらり」を紹介してくれました。最初はドキドキしていましたが、みんな優しく、「ゆらり」の職員原さんもとても良くしてくれて、とても気に入ったようで「働きたい!!」と話し、いよいよお仕事スタートとなりました。

原さん
藤澤さん
ゆらりのみなさん
ありがとう!!

お楽しみは給料日。初めてのお給料では自分のご褒美に、外出で揚げたての唐揚げと冷たいビール、お母さんに花のプレゼントをされています。明星学園以外の場所で働く事により、社会的ルールを学んだり、学園以外の多くの方に助けていただいたり、いろいろな方に丸茂さんの事を知ってもらえました。地域に出て働くことで丸茂さんの夢はどんどん膨らんでいます。頼りにされたい・誰かの役に立ちたいという気持ちは私たちと変わらない想いですよね。歩み始めたばかりですが、これからも応援していきたいと思います。

BREAK THROUGH

ブレークスルー

私を変えたあの日、あの瞬間

今年の3月31日をもって定年を迎えました。「定年を迎えた」なんて言うと何十年も勤めあげたみたいで「きこえ」はいいのですが、この仕事に就いてたったの10年です。この短い期間でさえも辞めたいと思ったことも、立ち止まり、後退りし、前に進めないことが何度あったことか、それでも働き続けることが出来たのは私を認めてくれる、背中をポンと押してくれる方々の存在でした。

Episode Ⅰ

入職して6ヶ月目の夜勤の時、明け方に利用者R子さんが脳内出血で急死しました。「何でもっと早く異変に気が付いてあげられなかったのだろう。責任は自分にある。」そして何よりも「きっとみんなも自分を責めるのだろう。」という恐怖感の中で『退職』という逃げの選択が心を占めていました。そんな時「あなたのせいじゃないよ。R子さんは38年という人生を駆け抜けたんだよ。人間明日何が起こるかわからない。だからこそ今できることをやっていこうよ。」そう声をかけてくれたのは園長でした。この一言が逃げから前向きに私を変えてくれました。

Episode Ⅱ

ある70歳の利用者Uさんが「お墓参りをしたい」と教えてくれました。すでに両親を亡くしており、遠い親戚の方の存在は確認できているものの菩提寺も生家も不明でした。菩提寺を探す作業も手詰まり状態で焦りと諦めに陥った時、偶然寄せられた情報からお寺回りをしていた時のことです。あるお寺で経緯を説明して情報を頂いていた時、ご住職の奥さんがこうおっしゃいました。「大変なお仕事ですね。でも素晴らしいお仕事ですね。」もしこの時「大変なお仕事ですね。」だけだったらきっと自分の心の中でも『大変』な気持ちのみが膨らんでいったでしょう。でも「素晴らしいお仕事」の一言で自分の仕事を認めてもらえた嬉しさと誇りを感じた一瞬です。その後菩提寺を探し当て、生家も見つけ訪ねることができました。

Episode Ⅲ

お墓参りにも行けるようになった前述のUさん。でも残念ながらその2年後に老衰で亡くなりました。身寄りもなく学園で葬儀を行うことになりその一切を取り仕切り無事天国に送った後のことです。私も初めての事で神経も使い、またなんとかやりきった感、そんな「燃え尽き症候群」とでもいうような状態で学園の廊下に横になっていた時のことです。担任をさせて頂いていた男性利用者Yさんがまるで添い寝でもしてくれるように横に来て寝そべり私の頭に手を置いてポンポンとしてくれます。その方は言葉を喋ることができません。でも私にははっきりと「お疲れ様、頑張ったな。」という彼の言葉が聞こえました。「私のことをしっかり見ていてくれたんだ。ありがとう。」彼の優しさに感謝と尊敬の念を覚えたひと時でした。

私の中にあるネガティブな感情とポジティブな感情の鬩ぎ合いの中で、辛さにも共感しつつ、それでも前に進めるように背中をポンと押してくれた方々に心より感謝します。そして学園のご好意によりまだ働けることになった今、今後も新たなブレークスルーを求め「今できること」をやっていきたいと思います。

雪組生活支援員　林　　賢

こちら明星学園通り一丁目

連載その７

「疑似父親像としての園長」

明星学園・第二明星学園　総園長 宮下　智

「園長さんと散歩したい」、そんなことを時々言われたりする。こんな時に、「私には人気があり、皆から好かれている」なんて勘違いをして、安請け合いしてはいけない。こんな誘いには深謀遠慮が必要だ。

散歩を始めたなら、本人が断らない限り、それを続けた方が良い。ひょっとしたら一年以上になるかもしれない散歩を、続けることができる時間と回数を定めて定期的に繰り返すことができることが良い。始めた散歩を途中で園長の都合で止めるようになることは、大いに本人の心を傷つけることになるからだ。

それには、もちろんいくつかの理由がある。

まず一番最初に考えることは、その方の家族背景である。特に父親との関係。園長という立場は、事業所内では父親的なイメージを彷彿とさせるから、その方が過去に十分な父親との愛着関係を結ぶことができなかったとすれば、理想の父親像を求めて、幼き頃にできなかった父親との経験を園長に求めている可能性が高いからだ。その方が虐待家庭で育ってきたとすれば、園長との散歩経験は、確実に大きな治療効果、行動変容のエネルギーを提供することとなる。

手をつないで歩くこと、自分の行きたいコースやペースに合わせて父親が歩いてくれるということ、自動販売機でコーヒーやジュースを買ってもらうこと、父親の飲みたいものを聞いてそのボタンを父親の代わりに押すこと、誰にも邪魔されないで二人だけの一体感を「あ！一番星だ！」とか「カエルの声が聞こえる」などと味わうこと…、実は簡単そうに見えるこんな愛着につながるような行動を十分に経験していない方々は意外に多い。知的障がいの方々は、しつけや訓練にさらされることが多いから、ややもすれば親子関係にはいつでも緊張が伴うことが多く、絶対的な安心を経験できる時間は意外に少ない。

人生には、忘れ物は禁物である。忘れ物をしたままその時代を過ぎると、必ずどこかで人生を引き返し、その忘れ物を取りに戻らなくてはならない時が来る。

幼い頃に、自分の身体を全部母親に預けてしまうような安心と信頼の抱っこやおんぶの機会が十分無いままに育てば、思春期を過ぎても赤ん坊のような身体接触を求めるようになるだろう。

すでに若くして父親を亡くしている場合には、生前の父親の追体験として園長を求めている時がある。

男性であれば、一緒に温泉へ行く、一緒に電車に乗る、ドライブに行く、一緒にビールを飲むなど、生きていれば、父親としていただろう、あるいは生前の父親としていたことと重ね合わせる形で、疑似父親としての園長との体験を求める。例えば、同じ温泉行きでもその嬉しさは通常の百倍となる。

女性であれば、バレンタインのチョコレートをプレゼントする対象になる、なんてことが疑似父親として園長ができることである。

対人支援において、特に行動変容や治療効果を期待する時、「裏切る」という行為が致命的な失敗となる。できない約束はしないことが、結果として「裏切らない」ことにつながり、たとえ散歩の約束であっても深謀遠慮が必要になるのは、一度失くした父親像を再構築する途上で、疑似父親像としての園長の裏切りは、二度目の父親喪失をつくり、取り返しのつかない心の傷をつくるからだ。

大きな疑似家族として、明星学園は成立している。人生で失くしたもの、落としてきたもの、そして忘れ物、大切なものを皆ここで捜している。

輪・和・わ！インフォメーション

園長の本が出版されました！

『知的障がい者入所支援施設30年の実践を語り・伝える

本当の気持ちと出会うとき

見えないこころとこころを紡ぐ意思決定支援43の物語』

なぜ暴れているの？
なぜ眠れないの？

本当の気持ちを伝えられずに困っている知的障がい・自閉症の方の「本当の気持ち」とは？
支援者必見の書！

■Ａ5判　298頁　2000円＋税
■㈱エスコアールより発売中です。

♡♡♡結の街メール♡♡♡

寄贈

●紙と包装材料「株式会社中村」様からトイレットペーパー2112ロールを寄贈していただきました。

ありがとうございました、
心より御礼申し上げます。

平成30年度（4月～6月）　明星学園・第二明星学園苦情・虐待（人権侵害）に関する通報事案

①苦情

明星学園：1件　第二明星学園：0件

対応）・苦情受付書作成　・苦情内容の検討　・対応を検討（報告書作成）　・提起者に報告

②人権侵害・虐待を疑わせる通報

明星学園：0件　第二明星学園：0件

③園内虐待防止、人権侵害等防止に関する取組

・虐待防止委員会の設置（啓発、受付、調査、改善策の検討）
・人材育成委員会による定期的課題提供の実施（意識向上、啓発）
・研修会への職員参加
・園内研修会の実施
・各クラスで人権擁護、虐待防止に関わる強化週間の設定

社会福祉法人　明　星　会

障害者支援施設

明 星 学 園（生活介護事業）（施設入所支援事業）
第二明星学園（生活介護事業）（施設入所支援事業）
〒399-2561 飯田市駄科2250
TEL 0265-26-9456　FAX 0265-26-9094
ホームページ http://www.myojo-gakuen.or.jp
メールアドレス myojo-gakuen-iida@clock.ocn.ne.jp

明 星 保 育 園
〒395-0807 飯田市鼎切石3928
TEL 0265-24-8020　FAX 0265-24-8008
ホームページ www.myoujou-hoikuen.com
メールアドレス myoujou-408@juno.ocn.ne.jp

北方日の出ホーム
〒395-0151 飯田市北方61-７　TEL 0265-48-8070

北方のぞみハイツ
〒395-0151 飯田市北方68-７　TEL 0265-48-0885

みんな幸せになりたい
あなたも私も